

さわでい

สมาคมมิตรภาพ ไทย-ชาวไทดำ

2009年5月
20号

発行

埼玉・タイ王国友好協会事務局
〒350-1192 川越市田町32-12
武州ガス社内 ☎049-247-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

埼玉王

図書館を建設し寄贈 バーンパーンホウエイタード校へ



▲図書館内部



▼建物後方より



▲バーンパーンホウエイタード校は、少数山岳民族（ラフ族）の小中学生140名が通う学校。完成した図書館は高床式の作りで、延床面積は70㎡、村のコミュニティ施設としての機能も果たす。

昨年二月に、平成二十年度事業の候補地として、バーンパーンホウエイタード校を訪問した時と今日では、政治、経済状況が大きく変わりました。その中で、私たちが計画通り、肅々と支援活動を継続できてきたことに、今感銘を覚えております。これはひとえに会員の皆様をはじめ、両国の関係者のご理解とご努力のおかげであります。子供達の目は未来を見つめています。この困難な時期だからこそ、教育支援の大切さ、重要さを確認し合い、活動を続けていきたいと思っております。会員の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

アメリカのサブプライムローンに端を発した経済恐慌は瞬く間に日本経済をも巻き込み、大変な思いをされている会員の皆様もいらっしゃると思います。タイにおいてはそれに政治の混乱が加わり、先行きの見えない不安定な状況が続いております。そのような中、当協会としての教育施設建設事業五件目となるバーンパーンホウエイタード校の図書館建設が完成しました。二月に開催された引渡し式には当協会の代表として西條副会長他五名の会員の方々に出席して頂きましたが、当日の式典では大変な歓迎を受け、子供たちはもとより、村人こそぞっての感謝、歓迎振りの報告を受けております。



会長
原 宏

困難な時期だからこそ

引渡し式に二百人が参集 当協会から西條副会長らが出席



▲教育局長より感謝状を受取る西條副会長



▲除幕式を執り行う西條副会長ら



▲マイत्री・インタパン校長

席された在チェンマイ日本国総領事館の佐藤領事、地元代表としてチェンマイ県第二教育局教育長、村長らが祝辞を述べました。次に、子供たちに日本から持参した記念品や古着、文具類が渡され、最後に当協会一行に同校の小学生が民族舞踊や感謝の歌を披露されました。



▲図書館正面で当会関係者ら一行。頭上に記念プレートが貼られている



▲表情豊かに民族舞踊を披露する小学生達

なお、今回の図書館建設費用は約五十二万バツ（百五十万円）で、当会会員の年会費と（埼玉県国際交流協会からの助成金を元に建設されました。

アジアホープ孤児院再訪

バーンバーンホウエイタード校での引渡し式の前に、西條副会長ら一行は、昨年託児施設を寄贈したアジアホープ孤児院を訪問しました。寄贈時、7名だった子供の数は現在12名に増えており、明るく元気な表情で一行を出迎え、日本から持参したおもちゃや古着に興味深々、大喜びの様子でした。



▲どうだい？いいだろう



▲これ、僕にぴったりみたい



▲何か入っているのかな？



▲記念プレートの横に引渡し式の原会長の写真が。



▲木陰で記念撮影



▲お気に入りがいっぱい

四千人が参列し冥福を祈る 土屋前知事を偲ぶ会



▲祭壇上部には縦4.8m、横3.6mの遺影が掲げられ、中央にはピンクの花で作られた県形のの中に、国内外からの勲章17本が並べられていた

昨年十月にご逝去された当協会名誉会長でもある、土屋義彦前知事を偲ぶ会が、去る二月二十四日、さいたまスーパーアリーナで開催され、ご遺族をはじめ、県民や政財界関係者ら四千人が参列しました。当協会から

原会長、山口泰明顧問をはじめ多くの役員と会員が参列し、在りし日を偲びました。また、在京タイ王国大使館のシマサクン大使やタイ天然資源環境省モンティップ総裁の姿もあり、タイとの交流の深さを見せていました。参列者全員の黙祷の後、上田清司知事が氏の業績をたたえる式辞を述べました。その後、深井明県議会議長、須田健治市長会長、石原信雄元内閣官房副長官らに続いて、原会長も追悼



▲追悼の辞を述べる原会長

の辞を述べました。

衆議院議員の土屋品子氏は、謝辞の中で「草の根外交で世界に友人をつくり、それらの友人が父の残した遺産です」と話されておりました。

また、土屋前知事が好んで歌った歌や福祉施設などの訪問時にハーモニカで演奏したという「赤とんぼ」が県警音楽隊により演奏され、参列者は次々に献花をし、最後の別れを惜しんでいました。



▲シマサクン 駐日タイ大使 (前列中央)らの姿もあった

会員宅にタイ高校生がホームステイ

将来は日本で
 仕事をしたい

仕事をしたい

昨年十月、当協会の会員である初雁興業(株)専務取締役、関根勇治さん宅へバンコクの女子高校生、アピバタナポーン・アピサラさんがホームステイしました。関根さんの長女理穂さんが通う高校の交換留学で来日したもので、同宅に七泊しました。



▲理穂さんら姉妹とアピバタナポーンさん (右端)

アピサラさんは毎日、理穂さんと登校し、デイズニールランドや川越観光を楽しんだり、同校での授業に参加したり、茶道や着付けの体験などもしました。最後二日間は、ホストファミリーと過ごす日になっていてアピ

サラさんが希望していた水族館見学に、池袋のサンシャインに家族全員で出掛けました。

同宅での会話は英語で、理穂さんは話すことができますが、ご両親や二人の妹さん達ばかりこと英語であったとのこと。「でも何とか通じるものですね」と関根さん。ホームステイ受入れは初めてでしたが、食事も家族と一緒にの物で、日本食も大丈夫だったそうです。

関根さんがこの友好協会の活動を写真を見せながら説明したところ、大変驚き、感動したそうです。そして「日本が大好き。将来日本で仕事をしたい」と話していたそうです。



▲日本が大好き、と話すアピサラさん

タイにアクセス

会員 VOICE

ソフト面の支援も必要

飯能市 安江和廣さん



92年から4年間、01年から5年間、仕事でバンコクにいました。その間タイの人達にお世話になったので、その恩返しをしたいという気持ちが強いですね。退職した今は個人会員としてこの活動に参加しています。

私が居た9年間は好景気に重なり、タイも飛躍的に発展しましたが、田舎との格差が広がるのを目の当たりにもしました。政府や一般から目の届かないところはまだまだ遅れています。

2月アジアホープ孤児院を訪れた時、大変喜ばれ大歓迎を受けました。この会はこの5年間いわゆるハコモノを作ってきたと言えますが、その運営状態などのフォローや他にもソフト面での助言や支援も必要ではないかと思いました。

会員の皆さんがタイにもっともっと興味を持ち、「本気度」が上がってくるといいですね。

簡単タイ料理

タイ風卵焼き (カイ ジアウ ムーサップ) はいかが？

材料(2人分) ー卵2個・豚挽き肉80g・ねぎみじん切り大1・こしょう小1・ナムプラー小2・コリアンダー小1

- ①ボウルに卵を割り、よく溶きほぐし、豚ひき肉を入れ混ぜる。味付けにナムプラー・こしょう・ねぎを加え混ぜる。
- ②フライパンにサラダオイルを多めに(揚げるつもりで)入れて、強火で熱くし、①を一気に流し入れる。
- ③下の面が黄色くなったら裏返し、両面が黄色くなったらできあがり。
- ④食べ方はいろいろ

ご飯に乗せてコリアンダーをふりかけ、卵焼きかけご飯で。またそのまま、ナムプラー、ライム汁、にんにく、みじん切りブリッキヌーで味付けしたソース、あるいはチリソースやケチャップでもおいしい。

第10回

タイ・フェスティバル

5月16(土) 17日(日)
AM10:00 ~ PM8:00
代々木公園

昨年は雨天にもかかわらず30万人もの人出があったというタイ・フェスティバル。

タイ料理のテントが並び、タイの食材、民芸品などの販売や体験コーナーなど楽しみがいっぱい。ステージも年々充実し、民族舞踊や音楽に加えて、現在活躍のアーティスト達も登場。タクローというタイ独特のスポーツのデモンストレーションもある。入場は無料

第11回 総会開催

下記の要領で総会を開催します。
ぜひご出席下さい。

日時 6月12日(金)
15:30~16:50 総会・講演会
17:00~19:00 懇親会

場所 川越東武ホテル
川越市脇田町29-1 ☎049-225-0111

※会員の皆様には別途、ご案内を送付致します。



第10回総会風景

タイ事務局連絡先

バンコクのUIエレクトロニクス
タイランド内
02・712・6575

編集後記

●アジアホープ孤児院の子供達の写真を選びながら、タイの政治状況が早く落ちてくよう祈りました。

●黄金の三角地帯を視察、ラオス・ミャンマーと比べタイ人の笑顔のすばらしさを再認識(Y)

埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL: 049-247-5428
個人会員 2千円 FAX: 049-246-2118

(武州ガス城内)